

東邦大学医療センター佐倉病院臨床研修プログラム

佐倉・選択専攻科目

眼科（4週以上）

1 研修プログラムの目的と特徴

眼科医として必要な知識と技術を取得し、医師としての患者に対する心構えや態度の修練を目的とする。臨床研修期間で眼科における研修のみならず、他科の専門分野においても知識を習得し眼科診療に役立てられるようにする。

2 プログラム管理運営体制

当科プログラム委員会で管理運営され、研修のための計画、調整及び実施を行う。

3 教育プログラム

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は4週以上である。

3-2 一般目標（GIO）

医の倫理及び患者家族との人間関係

1. 眼科臨床医に必要な基礎知識
2. 眼科診断技術及び検査
3. 眼科治療技術

上記の知識と技術の習得

3-3-1 行動目標（SBOs）

短期：病棟研修 臨床研修指導医のもとで診療し、治療計画は臨床研修指導医のチェックを受けて実施する。

外来研修 外来を見学し基本的検査の修得をめざす。

長期：病棟研修 臨床研修指導医のもとで担当医として診療し、治療計画は臨床研修指導医のチェックを受けて実施する。症例によっては手術を行う。

外来研修 外来を見学し基本的検査の修得と検査結果の評価ができるようになる。

再来、初診患者を担当医として診療、治療にあたる。

3-3-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

細隙灯での前眼部、後眼部診察、倒像鏡での眼底診察等の眼科診察。

視力検査、視野検査等の検査。

眼科の基本的な手術手技。

3-3-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体、ぶどう膜、斜視、弱視、屈折矯正、神経眼科を経験し病態、疾患への理解を深め、的確な治療計画がたてられるようにする。

3-3-2-C 特定医療現場の経験

臨床研修指導医とともに経験する。

3-4-1 学習方略（LS）

1) 病棟業務

- ・臨床研修指導医のもとで診察し診療計画をたてる

2) 外来業務

- ・外来を見学し、基本的検査の習得と診断、治療計画をたてる。

3) 眼科検査

- ・視力検査
- ・眼圧検査
- ・細隙灯検査
- ・眼底検査

4) カンファレンス・勉強会

- ・カンファレンス、オペカンファレンス（毎週木曜日）
蛍光眼底造影検査をした症例の提示と治療方針の決定。
翌週の手術全症例のプレゼンテーション
- ・医局勉強会（毎週木曜日）
医局員が毎週順番に研究内容や講義を発表。

3-4-2 週間スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	病棟回診 外来業務 病棟業務	手術 専門外来	外来業務 病棟業務	病棟回診 手術 専門外来	医局カンファレンス 病棟回診 外来業務	外来業務 病棟業務
午後	外来業務 病棟業務	手術 病棟業務	外来業務 病棟業務	手術 症例カンファレンス	外来業務 病棟業務	休み

3-5 評価（EV）

自己評価表及び臨床研修指導医の客観的評価

3-6-1 指導体制

1 臨床研修指導医に1研修医が基本

3-6-2 臨床研修指導医

臨床研修指導医責任者	産賀 真
臨床研修指導医	前野 貴俊
臨床研修指導医	坂本 理之
臨床研修指導医	昌原 英隆
臨床研修指導医	吉田 いづみ
臨床研修指導医	永岡 卓
臨床研修指導医	酒井 麻夫

3-6-3 協力施設

東邦大学医療センター大森病院
東邦大学医療センター大橋病院
井上眼科病院